

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 15.8$ で前期比5.8ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 2.0$ で10.6ポイント増、受注残は $\Delta 0.1$ で11.2ポイント増とともにかなり減少幅が縮小し、収益は $\Delta 11.1$ で2.0ポイント増とやや改善した。来期の見通しについては、業況は低調感がわずかに強まり、売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅が幾分拡大する見込み。

業種別でみると、業況は「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに極端に厳しさが和らぎ、「一般機械器具・金型」は大幅に低調感が強まった。売上額は、「電気機械器具」は増加に転じ、「金属製品・建設用金属製品」はかなり改善し、「一般機械器具・金型」は大きく減少幅が拡大した。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は増加に転じ、「電気機械器具」は極端に減少幅が縮小し、「一般機械器具・金型」はやや減少を強めた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は増加に転じ、「電気機械器具」は若干持ち直し、「一般機械器具・金型」は大きく減少幅が拡大した。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は8.5で7.5ポイント増、原材料価格は53.6で12.6ポイント増とともに大きく上昇傾向が強まり、在庫は $\Delta 2.1$ で3.9ポイント減と品薄に転じた。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がやや弱まり、原材料価格は上昇幅がかなり縮小し、在庫は不足感がわずかに強まる見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の上昇が続き、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに若干下降傾向が弱まった。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」「電気機械器具」のいずれもかなり上昇傾向が強まった。在庫は、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに多少過剰感が改善し、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に不足感が強まった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 11.1$ で6.4ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 5.0$ で3.4ポイント減とやや厳しさが増した。借入をした企業は14.5%で1.8ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.6%で4.5ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは多少窮屈感が強まり、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期同様の見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」は大きく改善し、「電気機械器具」はやや窮屈感が緩和し、「金属製品・建設用金属製品」はわずかに厳しさが増した。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は増減なく推移し、「電気機械器具」は幾分容易さが縮小し、「一般機械器具・金型」は大幅に後退した。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり増加し、「電気機械器具」は若干増加し、「一般機械器具・金型」は大幅に減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり増加し、「電気機械器具」はやや増加し、「一般機械器具・金型」は増減なく推移した。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で49.3%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で34.8%、3位は「利幅の縮小」で21.7%となった。以下、4位は「仕入先からの値上げ要請」が15.9%、5位は「同業者間の競争の激化」が14.5%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で55.1%となった。次いで2位は「販路を広げる」で46.4%、3位は「人材を確保する」「情報力を強化する」でともに8.7%となった。以下、4位は「新製品・技術を開発する」で7.2%、5位は「教育訓練を強化する」で5.8%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は $\Delta 2.9$ で前期比21.3ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 0.9$ で16.4ポイント増とかなり改善し、受注残は7.2で14.7ポイント増、収益は7.9で14.2ポイント増とともに増加・増益に転じた。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、収益、受注残、売上額いずれも改善した。価格動向については、販売価格は10.9で0.1ポイント増と前期並の上昇が続き、原材料価格は50.5で11.5ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 23.7$ で5.5ポイント減と大幅に不足感が強まった。資金繰りは $\Delta 10.7$ で4.2ポイント減とわずかに厳しさが増し、借入難易度は0.0で増減なく推移した。借入をした企業は25.0%、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は25.0%とともにかなり増加した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。売上額は今期同様の水準で推移し、収益は今期同様の増益が続き、受注残は増加幅がやや縮小する見通し。価格動向については、販売価格は今期同様の上昇で推移し、原材料価格は上昇傾向が多少弱まるとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは今期同様の厳しさを推移し、設備投資をする企業は大幅に減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で37.5%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」で25.0%、3位は「売上の停滞・減少」「人手不足」「同業者間の競争の激化」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「下請の確保難」「地価の高騰」でいずれも12.5%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」「教育訓練を強化する」でいずれも25.0%、2位は「販路を広げる」「情報力を強化する」「不採算部門を整理・縮小する」「提携先を見つける」でいずれも12.5%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は $\Delta 13.8$ で前期比8.1ポイント減と大幅に低調感が強まった。受注残は $\Delta 6.5$ で3.1ポイント減とやや減少を強め、売上額は $\Delta 13.8$ で10.1ポイント減、収益は $\Delta 17.2$ で17.1ポイント減とともに大きく減少・減益幅が拡大した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも悪化した。価格動向については、販売価格は $\Delta 7.6$ で1.5ポイント増と若干下降傾向が弱まり、原材料価格は31.7で7.8ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。在庫は9.7で2.0ポイント減と多少過剰感が改善した。資金繰りは $\Delta 4.4$ で7.6ポイント増と大きく改善し、借入難易度は14.3で10.7ポイント減と大幅に後退した。借入をした企業は11.1%で11.1ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%で増減なく推移した。

来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぐ見込み。売上額、収益はともに減少・減益幅が大幅に縮小し、受注残はやや持ち直す見通し。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格は今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は過剰感が大きく改善し、資金繰りは窮屈感が多少強まり、設備投資をする企

業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「原材料高」「仕入先からの値上げ要請」でいずれも33.3%、2位は「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」でともに11.1%となった。重点経営施策については、1位が「販路を広げる」「経費を節減する」でともに44.4%、2位は「機械化を推進する」で11.1%となった。

(3)電気機械器具

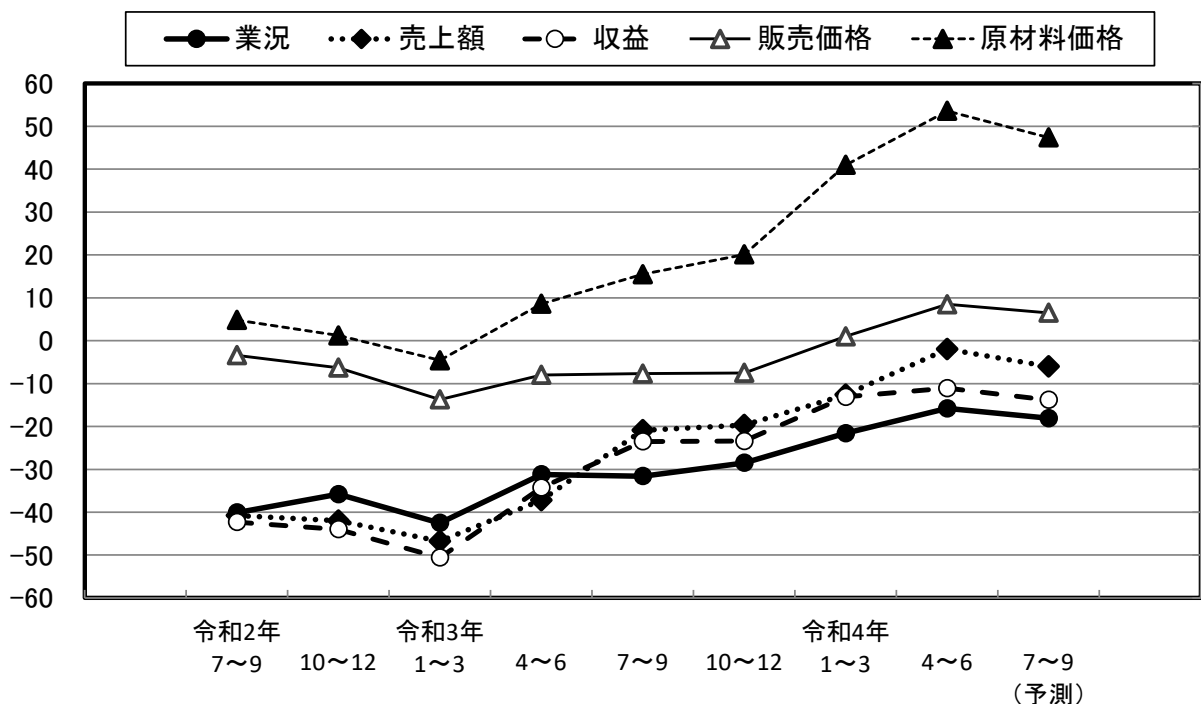
業況は△12.7で前期比21.2ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は6.2で19.2ポイント増と増加に転じ、収益は△29.1で1.7ポイント増と若干持ち直し、受注残は△0.2で22.4ポイント増と極端に減少幅が縮小した。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも改善した。

価格動向については、販売価格は0.0で1.7ポイント増と若干下降傾向が弱まり、原材料価格は68.0で7.4ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。在庫は8.1で3.7ポイント減と多少過剰感が改善した。資金繰りは△24.7で4.5ポイント増とやや窮屈感が緩和し、借入難易度は8.4で4.9ポイント減と幾分容易さが縮小した。借入をした企業は15.4%で2.1ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は15.4%で2.1ポイント増加した。

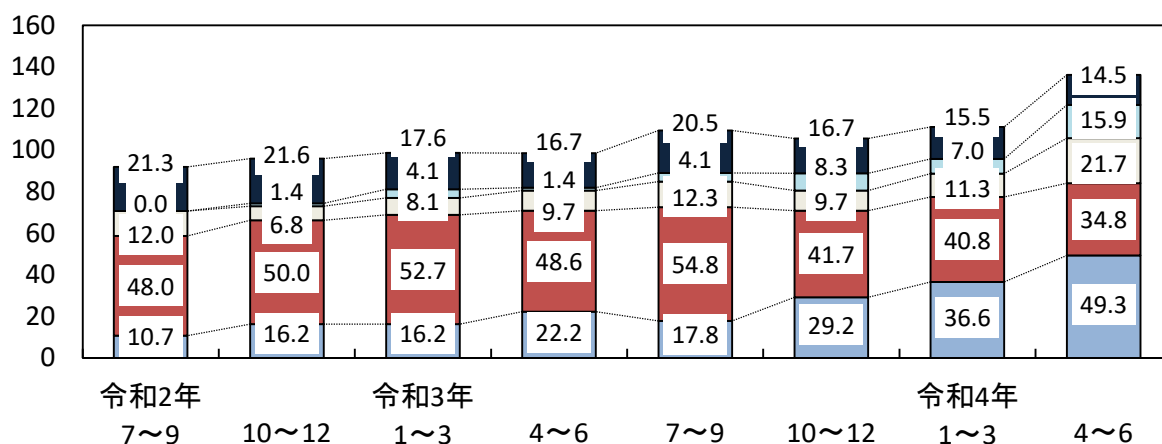
来期の見通しについては、業況は低調感がかなり強まる見込み。売上額は増加から減少に転じ、受注残、収益はともに大きく減少・減益幅が拡大する見通し。販売価格はほぼ横ばいで推移し、原材料価格は上昇傾向が大幅に弱まるとみられる。在庫は今期同様の過剰感が続き、資金繰りは今期同様の苦しさが続き、設備投資を実施する企業はかなり減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「利幅の縮小」で53.8%、2位は「原材料高」で38.5%、3位は「売上の停滞・減少」で30.8%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で76.9%、2位は「販路を広げる」で46.2%、3位は「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」「パート化を図る」「教育訓練を強化する」「工場・機械を増設・移転する」でいずれも7.7%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



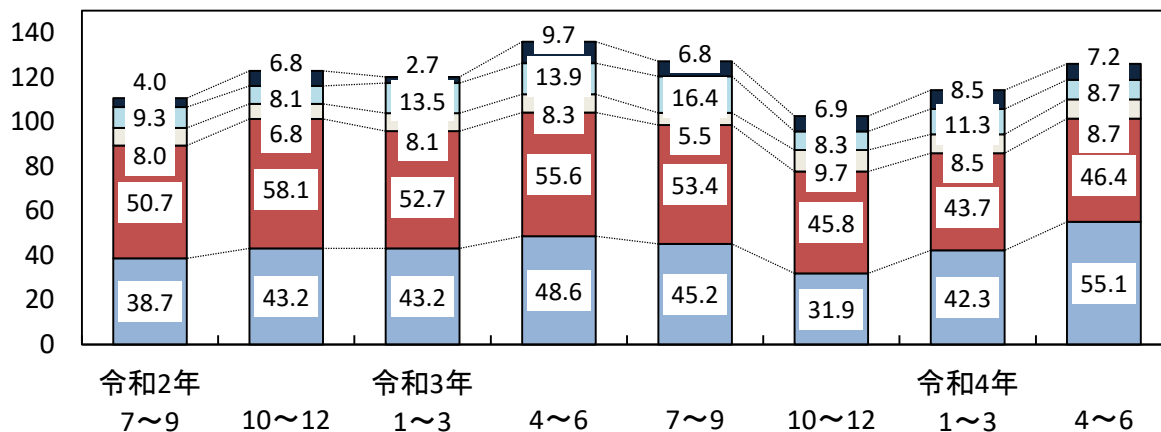
製造業 経営上の問題点（％）



■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 □ 利幅の縮小 □ 仕入先からの値上げ要請 ■ 同業者間の競争の激化

	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 54.8 %	売上の停滞・減少 41.7 %	売上の停滞・減少 40.8 %	原材料高 49.3 %
第2位	同業者間の競争の激化 20.5 %	原材料高 29.2 %	原材料高 36.6 %	売上の停滞・減少 34.8 %
第3位	原材料高 17.8 %	同業者間の競争の激化 16.7 %	同業者間の競争の激化 15.5 %	利幅の縮小 21.7 %
第4位	利幅の縮小 12.3 %	利幅の縮小 9.7 %	利幅の縮小 11.3 %	仕入先からの値上げ要請 15.9 %
第5位	人手不足 8.2 %	仕入先からの値上げ要請 8.3 %	大手企業との競争の激化 8.5 %	同業者間の競争の激化 14.5 %
		人手不足 8.3 %	販売納入先からの値下げ要請 8.5 %	

製造業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する ■ 販路を広げる □ 人材を確保する □ 情報力を強化する ■ 新製品・技術を開発する

	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	販路を広げる 53.4 %	販路を広げる 45.8 %	販路を広げる 43.7 %	経費を節減する 55.1 %
第2位	経費を節減する 45.2 %	経費を節減する 31.9 %	経費を節減する 42.3 %	販路を広げる 46.4 %
第3位	情報力を強化する 16.4 %	人材を確保する 9.7 %	情報力を強化する 11.3 %	人材を確保する 8.7 %
				情報力を強化する 8.7 %
第4位	提携先を見つける 9.6 %	情報力を強化する 8.3 %	人材を確保する 8.5 %	新製品・技術を開発する 7.2 %
			新製品・技術を開発する 8.5 %	
第5位	教育訓練を強化する 6.8 %	新製品・技術を開発する 6.9 %	提携先を見つける 5.6 %	教育訓練を強化する 5.8 %
	新製品・技術を開発する 6.8 %		機械化を推進する 5.6 %	
			教育訓練を強化する 5.6 %	
			工場・機械を増設・移転する 5.6 %	

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 36.0$ で前期比0.6ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は16.3で24.4ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 14.0$ で1.9ポイント減と多少減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぎ、売上額は増加から減少に転じ、収益は減益幅がかなり拡大する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は32.1で15.4ポイント増と大きく上昇傾向が強まり、仕入価格は59.3で20.6ポイント増と極端に上昇が強まった。在庫は2.4で8.6ポイント減とかなり過剰感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は上昇が大幅に強まる見込み。在庫は過剰から品薄に転じる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

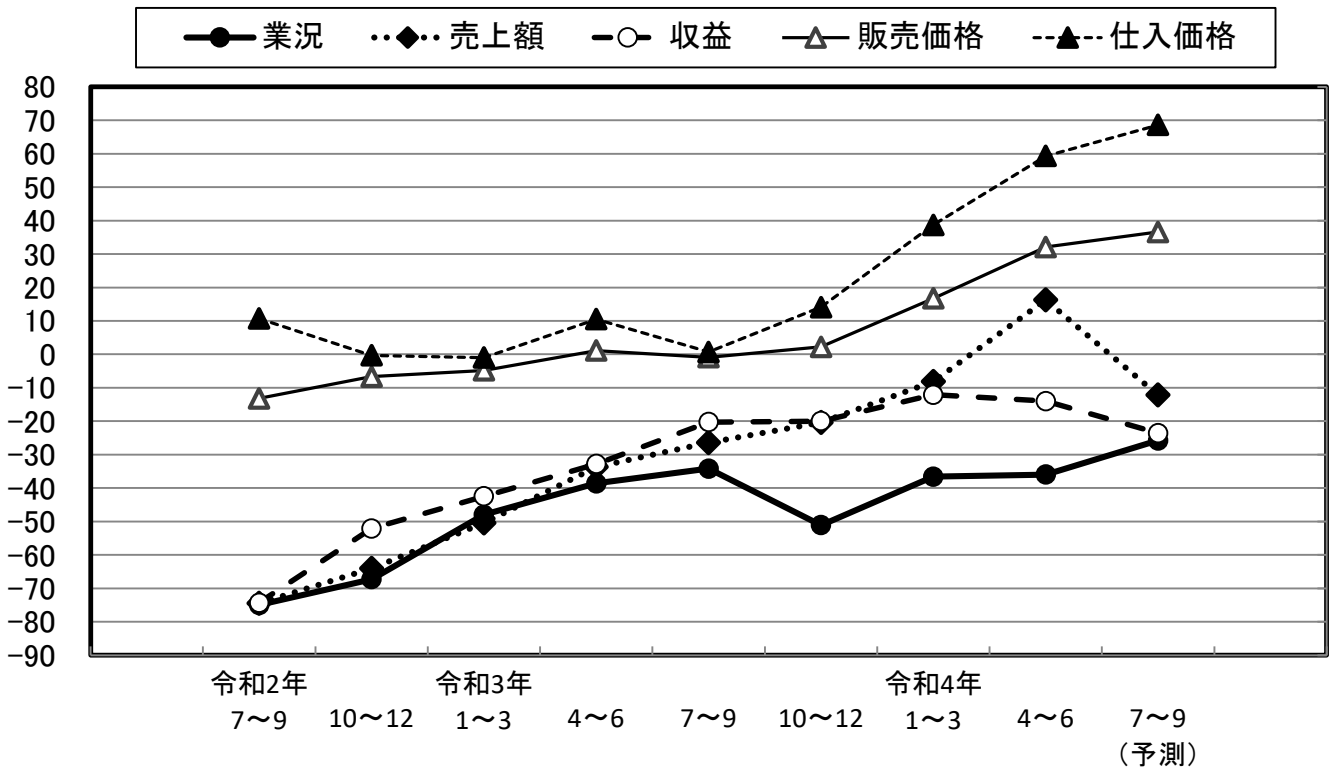
資金繰りは $\Delta 6.3$ で4.0ポイント減と幾分窮屈感が強まり、借入難易度は $\Delta 5.3$ で5.3ポイント減とわずかに厳しさが強まった。借入をした企業は25.0%で3.9ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.5%で4.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りはやや窮屈感が強まり、借入をする企業、設備投資をする企業はともに今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

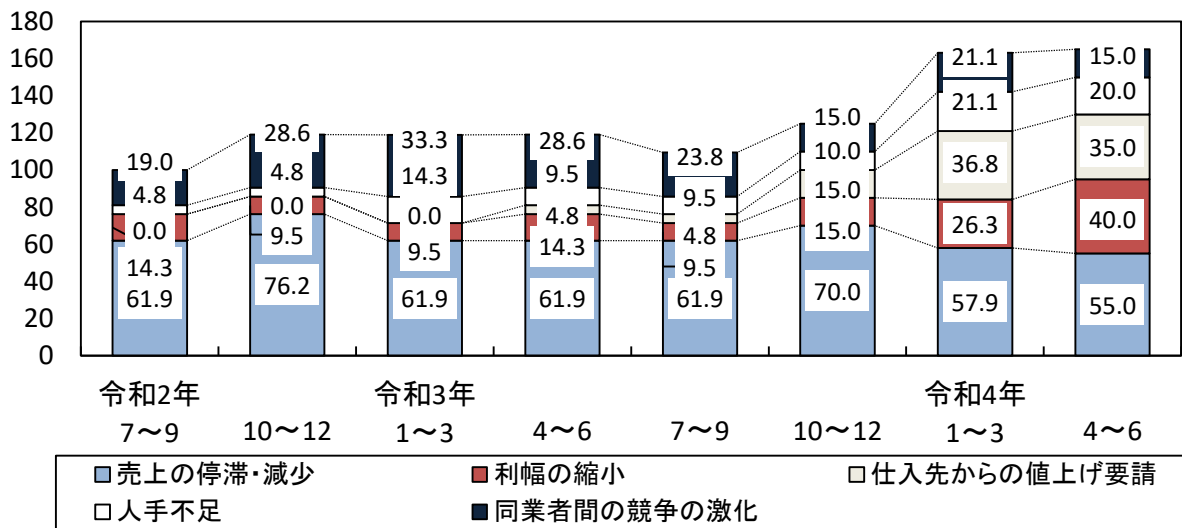
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で55.0%となった。次いで2位は「利幅の縮小」が40.0%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が35.0%となった。以下、4位は「人手不足」が20.0%。5位は「同業者間の競争の激化」が15.0%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で60.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」が50.0%、3位は「品揃えを充実する」が30.0%となった。以下、4位は「不動産の有効活用を図る」が15.0%、5位は「流通経路の見直しをする」「情報力を強化する」がともに10.0%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

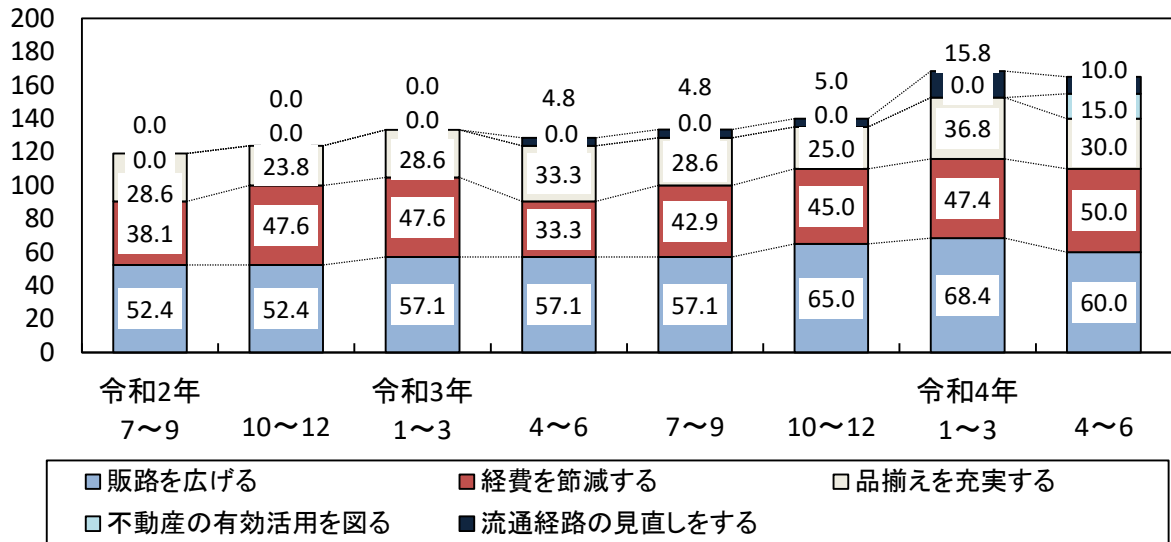


卸売業 経営上の問題点（％）



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 70.0 %	売上の停滞・減少 57.9 %	売上の停滞・減少 55.0 %
第2位	同業者間の競争の激化 23.8 %	仕入先からの値上げ要請 15.0 % 販売商品の不足 15.0 % 利幅の縮小 15.0 % 同業者間の競争の激化 15.0 %	仕入先からの値上げ要請 36.8 %	利幅の縮小 40.0 %
第3位	販売商品の不足 14.3 %	人手不足 10.0 % 取引先の減少 10.0 %	利幅の縮小 26.3 %	仕入先からの値上げ要請 35.0 %
第4位	利幅の縮小 9.5 % 人手不足 9.5 %	小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %	同業者間の競争の激化 21.1 % 人手不足 21.1 %	人手不足 20.0 %
第5位	小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 仕入先からの値上げ要請 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 為替レートの変動 4.8 %		取扱商品の陳腐化 10.5 % 販売商品の不足 10.5 %	同業者間の競争の激化 15.0 %

卸売業 重点経営施策（％）



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 65.0 %	販路を広げる 68.4 %	販路を広げる 60.0 %
第2位	経費を節減する 42.9 %	経費を節減する 45.0 %	経費を節減する 47.4 %	経費を節減する 50.0 %
第3位	品揃えを充実する 28.6 %	品揃えを充実する 25.0 %	品揃えを充実する 36.8 %	品揃えを充実する 30.0 %
第4位	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %	情報力を強化する 20.0 %	流通経路の見直しをする 15.8 % 人材を確保する 15.8 %	不動産の有効活用を図る 15.0 %
第5位	提携先を見つける 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	人材を確保する 15.0 %	新しい事業を始める 10.5 %	流通経路の見直しをする 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 17.1$ で前期比0.3ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は2.7で8.6ポイント増と増加に転じ、収益は $\Delta 7.6$ で1.7ポイント増と若干減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額は増加から減少に転じ、収益は減益幅が幾分拡大する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は21.7で13.7ポイント増、仕入価格は29.1で12.8ポイント増とともに大きく上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 8.1$ で7.6ポイント減とかなり不足感が強まった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに今期同様の上昇で推移し、在庫は今期並の不足感が続く見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

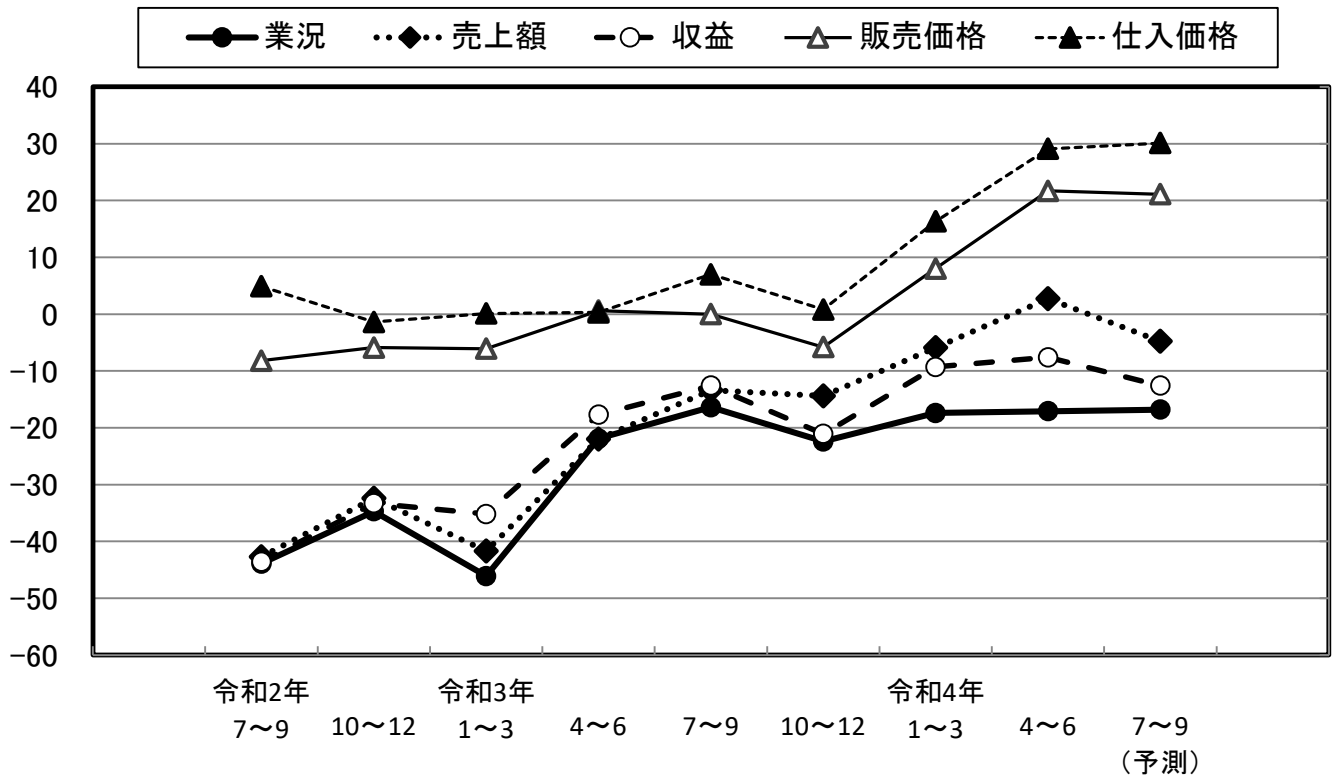
資金繰りは $\Delta 6.9$ で1.6ポイント減とやや窮屈感が強まった。借入難易度は0.0で前期同様変わらずであった。借入をした企業は10.8%で増減なく推移した。設備投資動向については、設備投資をした企業は5.6%で0.1ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入をする企業は若干増加し、設備投資をする企業は幾分減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

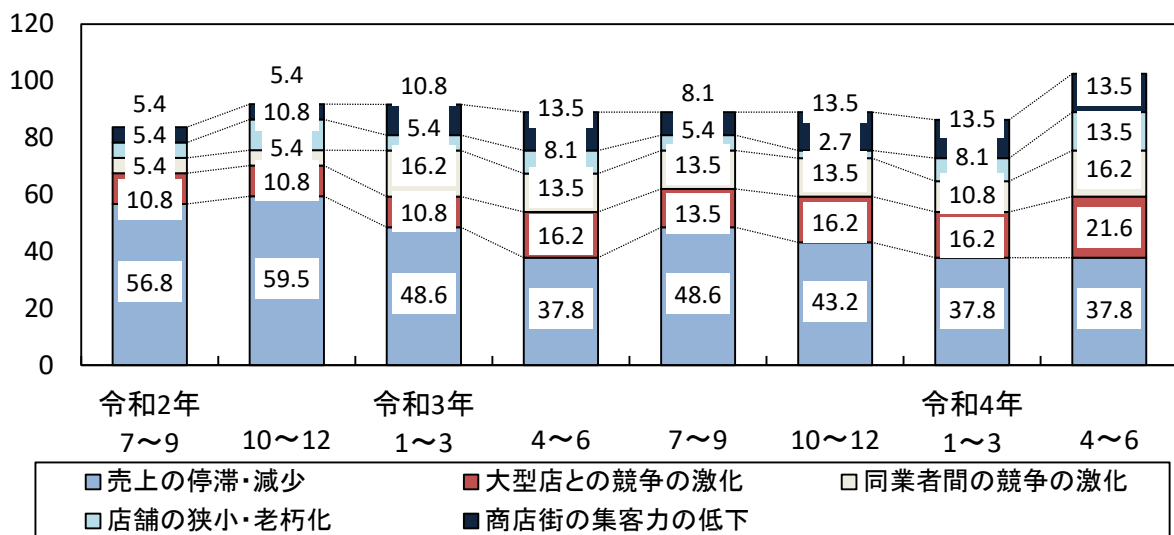
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で37.8%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」で21.6%、3位は「同業者間の競争の激化」で16.2%となった。以下、4位は「店舗の狭小・老朽化」「商店街の集客力の低下」でともに13.5%、5位は「仕入先からの値上げ要請」で8.1%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で51.4%となった。次いで2位は「売れ筋商品を取り扱う」で29.7%、3位は「宣伝・広告を強化する」で27.0%となった。以下、4位は「品揃えを改善する」で16.2%、5位は「商店街事業を活性化させる」で10.8%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

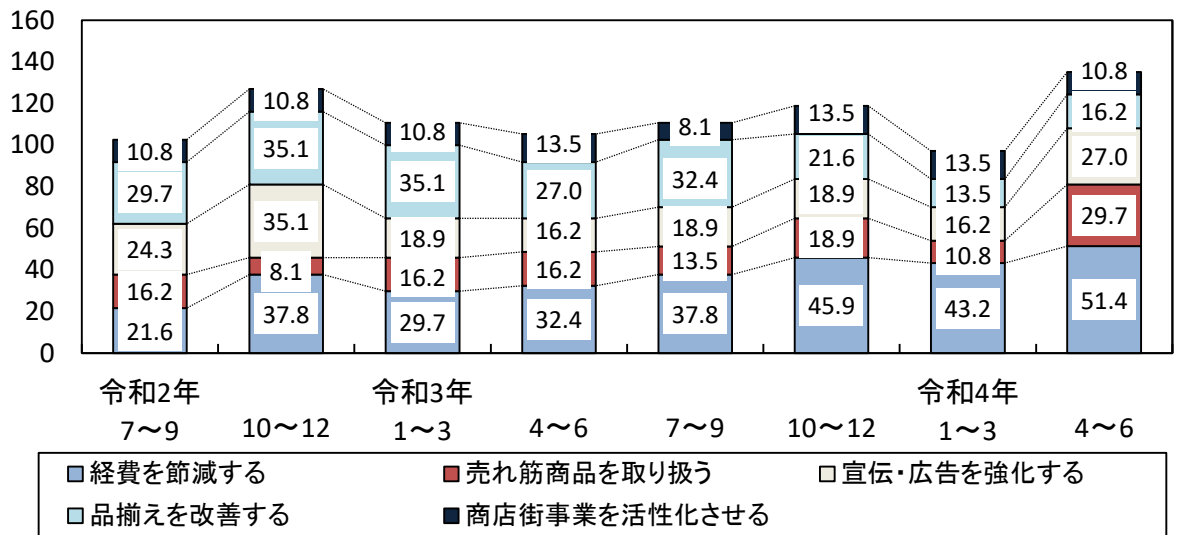


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 48.6 %	売上の停滞・減少 43.2 %	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 37.8 %
第2位	大型店との競争の激化 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 21.6 %
第3位	天候の不順 10.8 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 利幅の縮小 13.5 %	同業者間の競争の激化 16.2 %
第4位	商店街の集客力の低下 8.1 % 商圈人口の減少 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 8.1 % 人手不足 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 10.8 % 人手不足 10.8 % 同業者間の競争の激化 10.8 %	店舗の狭小・老朽化 13.5 % 商店街の集客力の低下 13.5 %
第5位	人手不足 5.4 % 利幅の縮小 5.4 % 仕入先からの値上げ要請 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %	利幅の縮小 5.4 % 人件費以外の経費の増加 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 天候の不順 5.4 %	店舗の狭小・老朽化 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 8.1 %

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	経費を節減する 37.8 %	経費を節減する 45.9 %	経費を節減する 43.2 %	経費を節減する 51.4 %
第2位	品揃えを改善する 32.4 %	品揃えを改善する 21.6 %	宣伝・広告を強化する 16.2 %	売れ筋商品を取り扱う 29.7 %
第3位	宣伝・広告を強化する 18.9 %	売れ筋商品を取り扱う 18.9 % 宣伝・広告を強化する 18.9 %	商店街事業を活性化させる 13.5 % 品揃えを改善する 13.5 %	宣伝・広告を強化する 27.0 %
第4位	売れ筋商品を取り扱う 13.5 %	商店街事業を活性化させる 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 10.8 % 店舗・設備を改装する 10.8 %	品揃えを改善する 16.2 %
第5位	商店街事業を活性化させる 8.1 %	仕入先を開拓・選別する 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.1 % 人材を確保する 8.1 %	商店街事業を活性化させる 10.8 %

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 34.0$ で前期比8.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 18.3$ で12.9ポイント増、収益は $\Delta 19.7$ で14.0ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況はやや上向き、売上額はかなり持ち直し、収益は減益幅が若干縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は6.7で11.1ポイント増と上昇に転じ、材料価格は27.8で18.2ポイント増とかなり上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格は上昇幅が大きく拡大し、材料価格は上昇傾向がわずかに強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

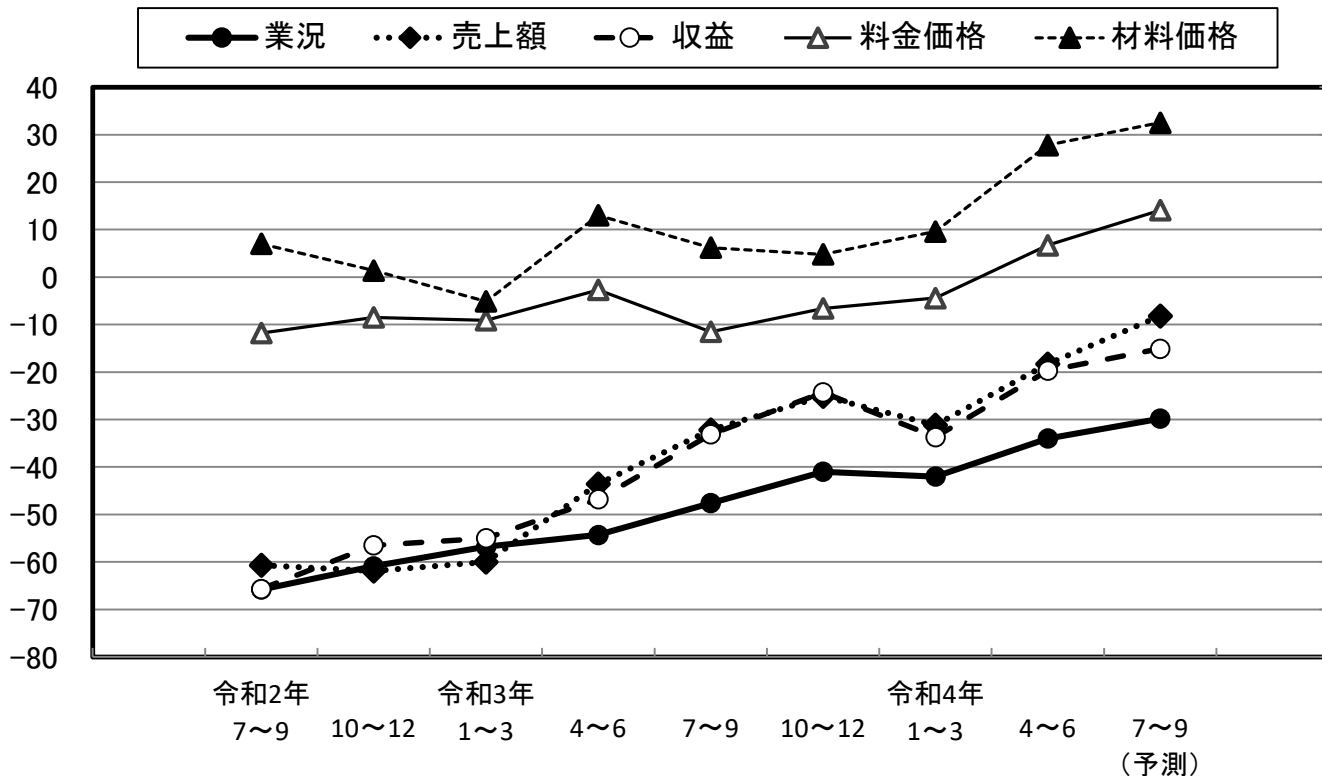
資金繰りは $\Delta 12.4$ で5.6ポイント増とかなり改善し、借入難易度は $\Delta 8.1$ で0.8ポイント減と前期並の苦しさとなった。借入をした企業は10.6%と6.3ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.6%と0.8ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の苦しさが続き、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともに幾分増加する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

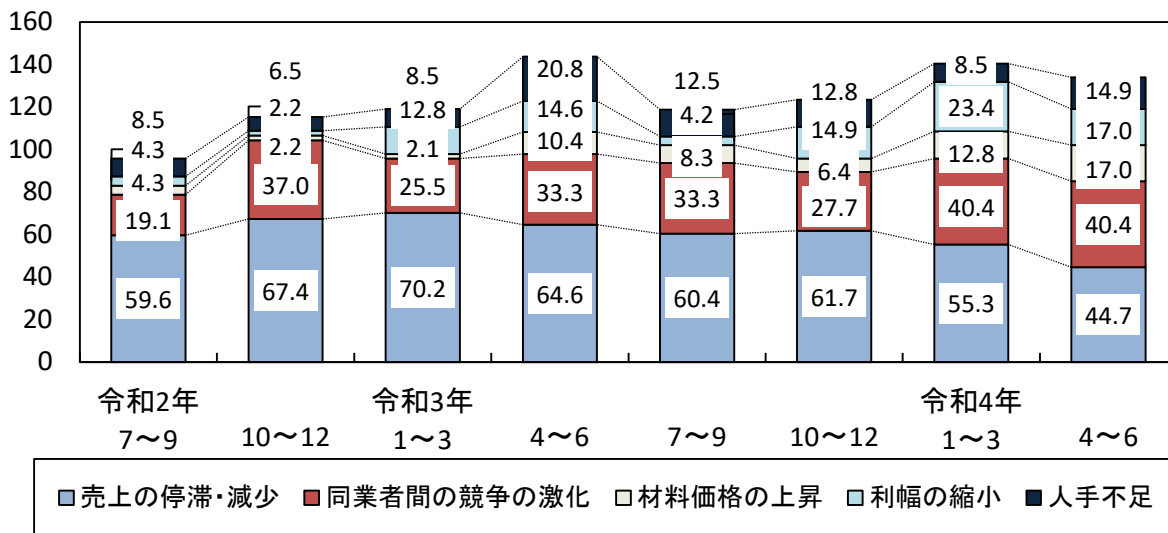
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で44.7%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で40.4%、3位は「材料価格の上昇」「利幅の縮小」でともに17.0%となった。以下、4位は「人手不足」で14.9%、5位は「人件費の増加」で10.6%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で53.2%となった。次いで2位は「販路を広げる」で44.7%、3位は「宣伝・広告を強化する」で14.9%となった。以下、4位は「教育訓練を強化する」「人材を確保する」「技術力を強化する」でいずれも10.6%、5位は「提携先を見つける」で4.3%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

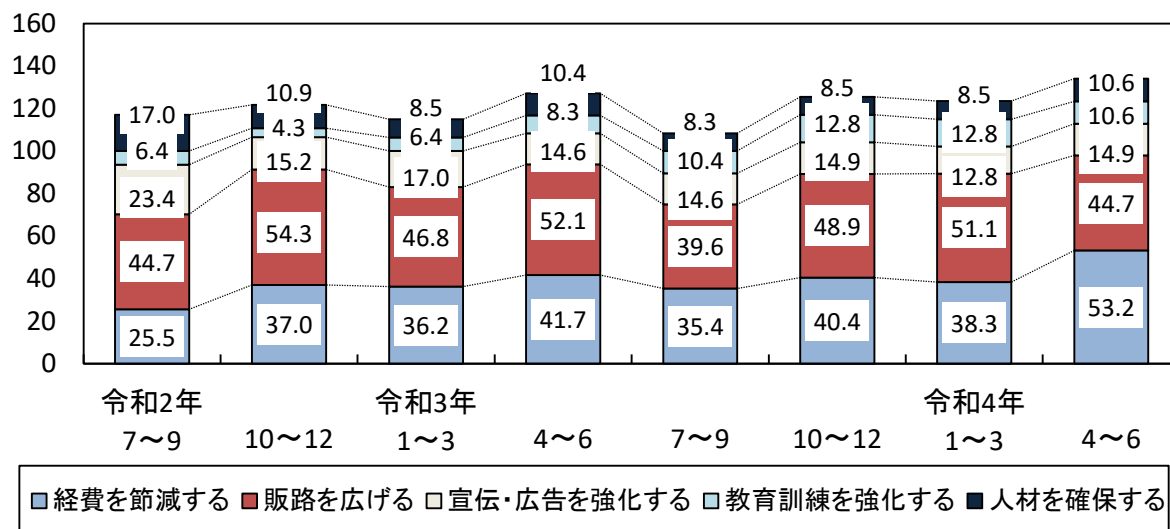


サービス業 経営上の問題点（%）



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 60.4 %	売上の停滞・減少 61.7 %	売上の停滞・減少 55.3 %	売上の停滞・減少 44.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 27.7 %	同業者間の競争の激化 40.4 %	同業者間の競争の激化 40.4 %
第3位	取引先の減少 14.6 %	取引先の減少 14.9 %	利幅の縮小 23.4 %	材料価格の上昇 17.0 %
		利幅の縮小 14.9 %		利幅の縮小 17.0 %
第4位	人手不足 12.5 %	人手不足 12.8 %	材料価格の上昇 12.8 %	人手不足 14.9 %
第5位	材料価格の上昇 8.3 %	大企業との競争の激化 6.4 %	人手不足 8.5 %	人件費の増加 10.6 %
		材料価格の上昇 6.4 %		
		人件費の増加 6.4 %		

サービス業 重点経営施策（％）



	令和3年7月～9月期		令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期		令和4年4月～6月期	
第1位	販路を広げる	39.6 %	販路を広げる	48.9 %	販路を広げる	51.1 %	経費を節減する	53.2 %
第2位	経費を節減する	35.4 %	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	38.3 %	販路を広げる	44.7 %
第3位	提携先を見つける	18.8 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	12.8 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %
					提携先を見つける	12.8 %		
					宣伝・広告を強化する	12.8 %		
第4位	技術力を強化する	16.7 %	教育訓練を強化する	12.8 %	人材を確保する	8.5 %	教育訓練を強化する	10.6 %
			提携先を見つける	12.8 %			人材を確保する	10.6 %
							技術力を強化する	10.6 %
第5位	宣伝・広告を強化する	14.6 %	人材を確保する	8.5 %	技術力を強化する	4.3 %	提携先を見つける	4.3 %
					機械化を推進する	4.3 %		

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 6.7$ で前期比0.4ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は1.6で26.5ポイント増、受注残は9.1で17.2ポイント増、施工高は4.3で16.1ポイント増といずれも増加に転じ、収益は $\Delta 5.0$ で17.6ポイント増と大きく改善した。来期の見通しについて、業況はかなり上向き見込み。施工高は好調さを大幅に強め、売上額は増加幅が多少拡大し、収益は増加に転じ、受注残は幾分後退する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は27.1で24.3ポイント増、材料価格は68.3で24.4ポイント増とともに極端に上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 10.3$ で0.9ポイント増と前期並の不足感が続いた。来期の見通しについては、請負価格は今期同様の上昇が続き、材料価格は上昇傾向が大きく弱まり、在庫は不足感がやや改善する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

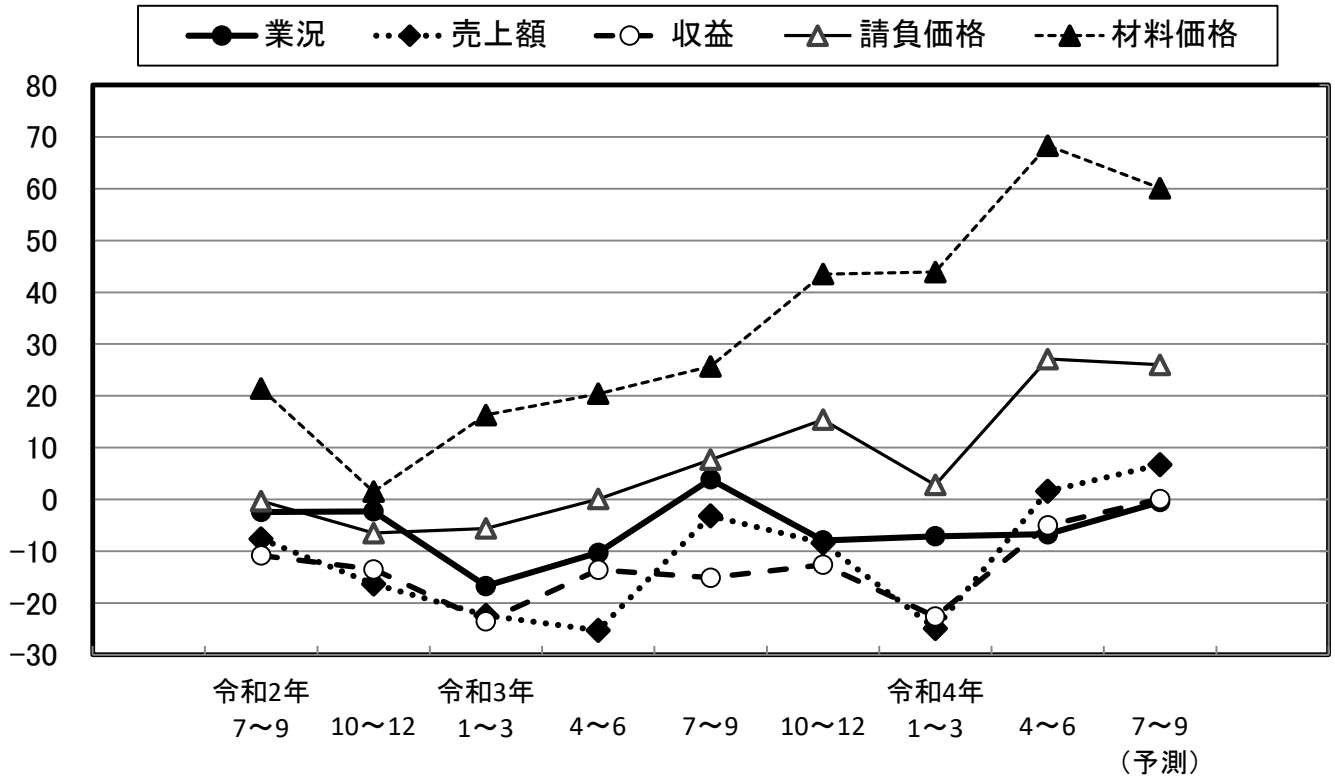
資金繰りは9.7で13.3ポイント増と大きく容易となり、借入難易度は0.0で増減なく推移した。借入をした企業は12.9%と3.2ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は19.4%と2.7ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さがわずかに縮小し、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにかなり減少する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

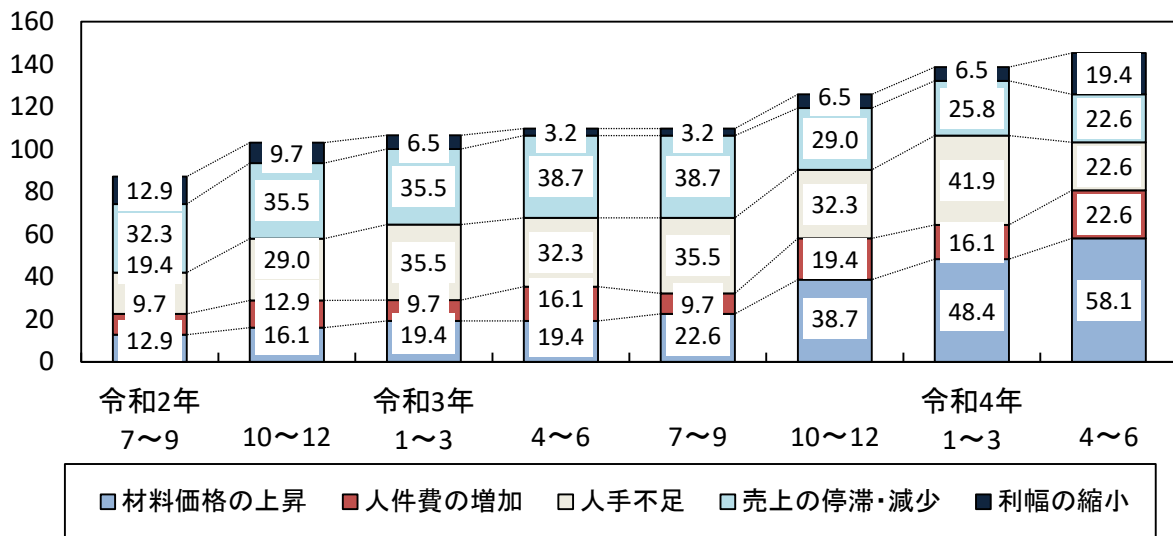
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で58.1%となった。次いで2位は「人件費の増加」「人手不足」「売上の停滞・減少」でいずれも22.6%、3位は「利幅の縮小」で19.4%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で12.9%、5位は「大手企業との競争の激化」「下請の確保難」でともに6.5%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で51.6%となった。次いで2位は「人材を確保する」で32.3%、3位は「販路を広げる」が29.0%となった。以下、4位は「技術力を高める」で25.8%、5位は「教育訓練を強化する」で9.7%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

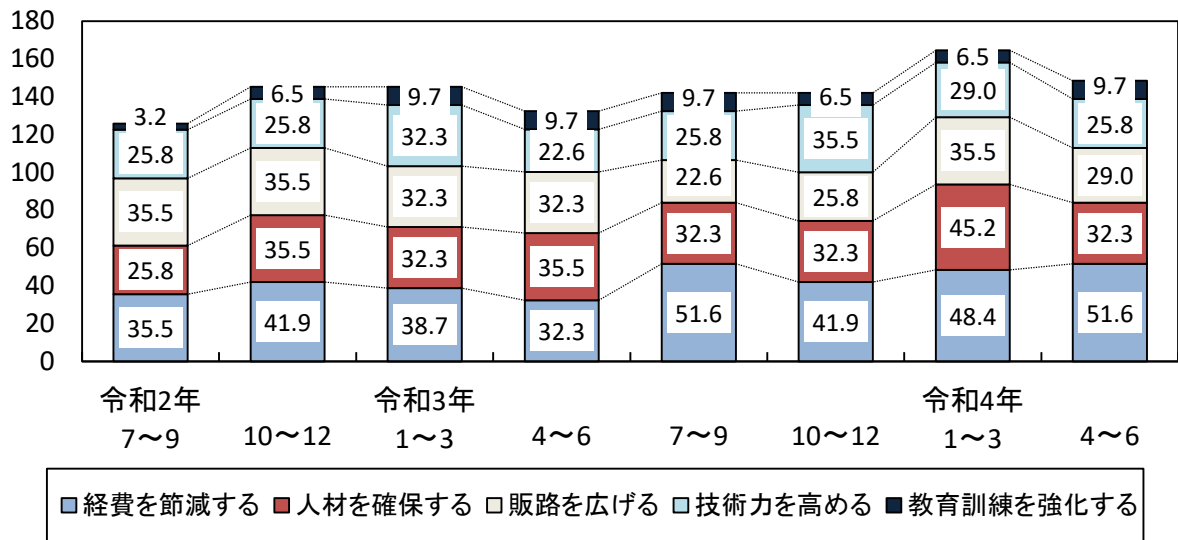


建設業 経営上の問題点（％）



	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 38.7 %	材料価格の上昇 38.7 %	材料価格の上昇 48.4 %	材料価格の上昇 58.1 %
第2位	人手不足 35.5 %	人手不足 32.3 %	人手不足 41.9 %	人件費の増加 22.6 % 人手不足 22.6 % 売上の停滞・減少 22.6 %
第3位	材料価格の上昇 22.6 %	売上の停滞・減少 29.0 %	同業者間の競争の激化 29.0 %	利幅の縮小 19.4 %
第4位	同業者間の競争の激化 16.1 %	同業者間の競争の激化 22.6 %	売上の停滞・減少 25.8 %	同業者間の競争の激化 12.9 %
第5位	天候の不順 12.9 % 下請の確保難 12.9 %	人件費の増加 19.4 %	人件費の増加 16.1 %	大手企業との競争の激化 6.5 % 下請の確保難 6.5 %

建設業 重点経営施策（％）



	令和3年7月～9月期		令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期		令和4年4月～6月期	
第1位	経費を節減する	51.6 %	経費を節減する	41.9 %	経費を節減する	48.4 %	経費を節減する	51.6 %
第2位	人材を確保する	32.3 %	技術力を高める	35.5 %	人材を確保する	45.2 %	人材を確保する	32.3 %
第3位	技術力を高める	25.8 %	人材を確保する	32.3 %	販路を広げる	35.5 %	販路を広げる	29.0 %
第4位	販路を広げる	22.6 %	情報力を強化する	25.8 %	技術力を高める	29.0 %	技術力を高める	25.8 %
			販路を広げる	25.8 %				
第5位	情報力を強化する	12.9 %	教育訓練を強化する	6.5 %	情報力を強化する	9.7 %	教育訓練を強化する	9.7 %